大妻女子大学
総合情報センター
年報

2012年度 第5号

総合情報センター　年報　　第５号　目次

刊行によせて　大妻女子大学 学長　荻上　紘一 …… 4
総合情報センター 所長　栗原　裕…… 5

２０１２年度 総合情報センター業務報告 …… 6
２０１２年度 総合情報センター＜図書館グループ＞業務報告 …… １０
２０１２年度 総合情報センター＜メディア教育開発グループ＞業務報告 …… ２０
２０１２年度 総合情報センター組織 …… ２５
大妻女子大学 総合情報センター規程 …… ２６
大妻女子大学 総合情報センター運営委員会規程 …… ２７
総合情報センター図書館グループ及びメディア教育開発グループ沿革…… ２８
総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧 …… ３０

「孫引き」情報に御用心

大妻女子大学
学長　荻上 紘一

私が学生の頃は、何かについて調べようと思えば、図書館へ行って百科事典などを繙いたものであるが、今はインターネットで検索することが当たり前になっている。私自身もインターネット経由で情報を入手することが非常に多い。

インターネットは、情報を入手する手段としては誠に便利であるが、情報の「質」を見極めて取捨選択することが必要不可欠である。要するに、インターネット上を飛び交う情報は玉石混淆、というより、石ころだらけであることに留意しなければならない。何かを調べる時には原典に当たるのが最善であるが、それは大抵の場合容易ではないので、百科事典やインターネットなどの代替手段で済ませることになる。昔の権威ある百科事典の記述にも「孫引き」はあったが、インターネット経由の情報は「孫引き」などは序の口で、「孫孫引き」、「孫孫孫引き」、「孫孫孫孫引き」・・・が珍しくないと思われる。以下は、かつて私が経験した「孫引き」の典型例である。

少年易老学難成　一寸光陰不可軽　未覚池塘春草夢　階前梧葉已秋聲

これは日本人なら誰でも知っていると思われる有名な漢詩である。中国の南宋時代の高名な儒学者朱子の「偶成」と題する詩として高校の漢文の時間に教わった。ある時、この詩を引用しようとして確認のため手許にある中国の詩集を何冊か開いてみた。何故かこの詩が見当たらないので図書館に出向いて調べてみたが、不思議 なことにどの漢詩集にも載っていなかった。「大学の図書館でこの有名な漢詩が見つからないということは･･･？？」と怪訝に思った。漢詩の故郷中国の人に聞いたら分かるだろうと思い、知り合いの中国人留学生何人かに聞いてみた。しかし意外なことに誰一人としてこの漢詩を知っている人はいなかった。北京大学で中国文学を専攻したという人ですら「これは良い詩だと思いますが、見たことがありません」という。疑問は益々増大した。その時はたと思いついて、刊行されたばかりの『広辞苑第五版』を見たら「近世初期の『滑稽詩文』、寄小人詩。一説に、朱子の作とされる偶成詩の句」と書かれているではないか。そこで中国文学専攻の教授に尋ねてみた。「この漢詩は和製ですか？」、「そうです。恐らく五山の僧の作でしょう」、「漢文の教科書には朱子の偶成と明記されていたし、広辞苑も第四版まではそのような説明が書かれていましたが・・・」、「辞典の編集者が孫引きで済ませるからそういうことになるのです。私はいま漢和辞典の編集をしていますが、このことはちゃんと書いておきました」、･･･。それにしても、永年信じられてきた古典の常識も覆ることがあり、権威ある辞典や教科書の記述も鵜呑みにしてはいけないことを知って大いに驚いた。尚、後日中国を訪問した折に、西安でこの「漢詩」が掲示されているのを見つけたが、日本から逆輸入されたものに違いない。

またこんなこともあった。さる「物の本」を読んでいたら曰くありげな川柳が載っていて、面白そうだが説明がよく分からない。出典は『甲子夜話』と書いてあったので、早速図書館へ行ってみたら、「東洋文庫」所収の『甲子夜話』は続篇、三篇を合わせると何と20冊もあるではないか。1冊目から順番に目次を頼りにそれらしい項目を探し出す作業をした。幸にして4冊目で見つけることが出来たが、20冊目だったら何日もかかったのではないかと思われる。しかし苦労 して原典を繙いたお陰で川柳の意味も理解出来、おまけに「物の本」の引用が間違っていることを「発見」することが出来た。どうやら著者は原典にあたらずに「孫引き」で済ませたらしい。洒脱な本を多数著している有名な先生であるが、案外杜撰であることが分かった。

メディアはメッセージである

総合情報センター所長　栗原　裕

マクルーハンの主要著作が出版されて半世紀が経ち、2011年には生誕100年を迎えた。ここに至って新しい世代が関心を新たにしているようである。宮澤淳一『マクルーハンの光景－メディア論がみえる』（みすず書房，2008）、門林岳史ほか『マクルーハン－生誕100年メディア（論）の可能性を問う』（河出書房新社，2011）などの解説書が現れているばかりか、それに先立ってマクルーハンの人物と思想と業績を主題とする論文で東京大学から博士号が授与されたりもしている。

このことはマクルーハンがいよいよ古典となったことを示していると言うべきか。あるいは、近代産業都市の形成によって田園が絵画や詩歌のなかで美しきものとして表現されることになったり、新種の道具の普及によって従来使われていた道具類が古民具骨董品として珍重されることになったりするのと似たような過程を辿っていると見るべきか。

マクルーハンの説く最重要命題が「メディアは人間の延長である」というものである。鋤や鍬は手の、服は皮膚の、車は足の、眼鏡は目の、コンピューターは脳の、それぞれ延長であると言うのだ。このような介助物を総称してマクルーハンはメディアと言っているのであり、言い方を換えて、いっさいの技術（テクノロジー）のことであるとしていい。そして、私のイメージでは、これらメディアはそれが人間の一部であるという意味で切り捨てるわけにいかず、ひたすら増殖を続ける腫瘍のように見える。

最重要命題のもう一つが標題に掲げた「メディアはメッセージである」というもの。車は足の延長、交通メディアの発達によって足の便がよくなったと喜んでいるうちに、気がついてみると、それが大都市網を発達させていたというように、足の延長がさらに大規模で思いも寄らない異種の展開を将来することがありうる。メディアにとって重大なのはその内容でなく、メディアそれ自体である。それがきっかけとなって人間の世界に引き起こすスケール、ペース、パターンの変容の重大性こそが、まさにメディアの帯びているメッセージであると言うのである。

もう一つ、活字印刷メディアの発明によって時と場を問わず一度に不特定多数にことばが届けられるようになってその便益に浸っているうちに、やがてそれによって社会が再編され人間が変質させられる。活字人間の成型である（マクルーハン『グーテンベルグの銀河系』のテーマ）。几帳面で、一度に一つ、手順にうるさく、論理を尊び、さらには事態に巻き込まれず超然とした姿勢をとる、等々の性向は、すべて活字印刷メディアが長年にわたって人間を成型した結果である。メディアの促進する人間の機能延長や充足は目先のことに限らない。メディアをたんに道具や手段と考えてはならない。深く静かに甚大な影響を及ぼすのだ。このことを言ったのが「メディアはメッセージである」という命題である。

これに関連して、宮澤は「メディアこそがメッセージである」と解するのが正解であると、言語学を引き合いに出して、技ありのポイントを取ったかのように言いなしている。メディア論であるからメディアを強調したくなるのは無理からぬことであり、目くじらを立てることではないが、しかし、これは引水のしすぎである。英語は“The medium is the message.”この立言が意表を衝いて意味をなすのは、一般に、メディアというものは、ラテン語源のとおり、媒体、仲介、介助の意味、すなわち、メッセージを担うものと考えられているが、それを越えてメッセージそのものである、と言っているところである。宮澤の言うように主語のメディアを強調しているわけではない。このような表現では、主語は単数で定冠詞を付け、補語も単数で定冠詞を付けるのが常態である。別例、“The pen is mightier than the sword.”（ペン［文］は剣［武］よりも強し）。諺である。簡略化して、“The pen is the sword.”（ペンは剣である）とすれば同一構文になる。

2012年度　総合情報センター業務報告

１．2012年度総合情報センター運営委員会

2012年６月２日（土）に第１回総合情報センター運営委員会を開催し、2012年度事業計画予算採択結果※1について報告がなされた。また、各グループの2011年度業務報告、決算報告※2、2012年度業務計画、予算案※3、及び「大妻女子大学学術情報リポジトリ運用指針（案）」について審議を行った。

第２回総合情報センター運営委員会は、「大妻女子大学学術情報リポジトリ運用指針（案）」について６月７日（木）から６月15日（金）に文書回覧で審議され、了承された。

第３回総合情報センター運営委員会は、2013年度事業計画予算申請（案）※4について９月20日（木）から９月27日（木）に文書回覧で審議され、了承された。

※１　2012年度事業計画予算採択結果

2012年度事業計画予算として申請した事業のうち、図書館グループは「図書館所蔵　貴重資料のデジタル化」および「図書館地下１階ＡＶ･情報メディアルームのリニューアルについて」（千代田校）の２件と昨年整備したラーニングコモンズおけるネットワーク環境の保守について承認された。

貴重資料のデジタル化は劣化の激しい貴重資料の中から保存・閲覧・公開を目的に大妻女子大学国文学会と協力しつつ、継続的に行っている。2012年度の事業として、①長者機嫌袋(宝永２年刊) ②浜松中納言物語(写本) ③信長記(版本、木箱(内漆箱)入) ④源氏物語(枡型本)のデジタル化を実施した。その内「長者機嫌袋(宝永２年刊)」は、2013年４月に刊行された「大妻文庫」に影印として収録されている。

千代田校図書館棟地下ＡＶ・情報メディアルームのリニューアルについては、事前着手が承認され、2012年４月よりの運用開始に先駆け年度末に更新工事を実施した。

メディア教育開発グループは申請した事業のうち「全学教育系情報システム更新」「多摩校図書館棟情報処理自習室リプレース」「多摩校 Microsoft Office2010 アップグレード」の３件が承認された。これら３件については2012年の４月から運用を開始するため、事前着手として2011年度末に工事を行った。また、千代田校大学校舎Ａ棟２５４、２５７教室の視聴覚設備更新工事はプロジェクターのみの更新で９月に実施した。

その他「多摩校社会情報学部第１実験室　情報処理関係機器保守」、「社会情報学部情報処理教室再リース物品保守料」の保守関係２件が承認された。

No.	件　　名	備　　考
K-1	全学教育系情報システム更新 ①情報処理関連３教室（C271・370・373）施設・設備更新 ②ファイルサーバ更新 ③ＡＤサーバ更新	
K-2	多摩校 図書館棟情報処理自習室リプレース	
K-3	多摩校 Microsoft Office 2010（PC アプリケーション）アップグレード	
K-4	大学校舎Ａ棟視聴覚教室２教室（254，257）視聴覚設備更新工事	ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾀｰのみ更新
K-5	多摩校 社会情報学棟 第１実験室 情報処理関係機器 保守	
K-6	社会情報学部 情報処理教室 再リース物品保守料	
K-7	図書館所蔵 貴重資料のデジタル化	
K-8	図書館地下１階ＡＶ・情報メディアルームのリニューアルについて	
K-9	ラーニングコモンズにおけるネットワーク環境の保守について	

※２　2011 年度　決算報告

（単位：円）

	図書館	メディア教育開発グループ			決　算	予　算
		千代田校	多摩校	狭山台校		
機器・備品費	381,675	3,147,622	1,240,370	247,800	5,017,467	6,680,000
消耗品費	1,829,173	3,483,573	1,429,470	352,110	7,094,326	6,130,000
修繕費	31,185	72,870	0	207,900	311,955	1,750,000
雑費	310,934	952,619	18,033	10,504	1,292,090	1,050,000
ソフト費	0	887,621	696,286	35,280	1,619,187	1,025,000
通信費	763,680	36,567	29,008	29,153	856,608	985,000
印刷・製本費	1,659,069	313,862	140,000	0	2,112,931	1,800,000
賃貸借費	0	0	146,853	0	146,853	200,000
ＨＰ作成費	297,600	500,000	500,000	500,000	1,797,600	1,500,000
予算戻り分	0	▲749,125	0	0	▲749,125	▲800,000
合計	5,273,316	8,645,609	4,200,220	1,382,747	19,501,892	20,320,000
		14,228,576				

※3　2012年度　予算案

（単位：円）

	図書館	メディア教育開発グループ			予算額合計
		千代田校	多摩校	狭山台校	
機器・備品費	500,000	3,400,000	1,500,000	300,000	5,700,000
消耗品費	2,000,000	3,700,000	1,960,000	400,000	8,060,000
修繕費	100,000	800,000	300,000	200,000	1,400,000
雑費	600,000	200,000	150,000	30,000	980,000
ソフト費	0	700,000	500,000	40,000	1,240,000
通信費	800,000	100,000	50,000	40,000	990,000
印刷・製本費	1,800,000	400,000	150,000	0	2,350,000
ＨＰ維持・管理費	100,000	150,000	150,000	0	400,000
予算戻り分	0	▲800,000	0	0	▲800,000
合計	5,900,000	8,650,000	4,760,000	1,010,000	20,320,000
		14,420,000			

※4　2013年度　事業計画予算申請

2013年度事業計画予算申請として図書館グループ４件、メディア教育開発グループ８件（うち保守費４件）の申請を行った。

【図書館グループ】

順位	件　名	備　考
1	多摩校 図書館メディアルームの整備	
2	図書館所蔵 リポジトリ用コンテンツ資料のデジタル化	
3	千代田校 図書館 入退館管理システム リプレイス	図書館１階及び文系共同図書室
4	図書館所蔵 貴重資料のデジタル化	2010～2012年度継続事業

【メディア教育開発グループ】

順位	件　名	備　考
1	千代田校 大学校舎Ｂ棟 232 情報処理教室施設・設備更新	2014年度事業計画の前倒し申請
2	千代田校 大学校舎Ａ棟 視聴覚教室設置 WL マイク設備更新	
3	多摩校 視聴覚教室設置 ＰＣ更新及び増設	
4	千代田校 大学校舎Ａ棟 視聴覚室 Web カメラ設置	

〈保守分〉

順位	件　　名	備　考
1	全学教育系情報システム年間保守 ①情報処理関連３教室（271，370，373）［千代田］ ②ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞｰ［千代田・狭山台］ ③ ADｻｰﾊﾞｰ［千代田・狭山台・多摩］	
2	多摩校 社会情報学部 情報処理関係教室 保守	
3	多摩校 比較文化学部 情報処理関係教室 保守	
4	多摩校 図書館棟 情報処理自習室 保守	

２．総合情報センター年報　第４号（２０１１年度）発行

３．総合情報センターホームページリニューアル及び維持・管理

URL ＜ http://www.cemit.otsuma.ac.jp/ ＞を参照のこと。

４．機関リポジトリの作成と試験公開

■図書館グループ

業務記録（2012/4/1 ～ 2013/3/31）

日　付	業　務	キャンパス
4/ 1	AV・情報メディアルーム リニューアルオープン	千代田
4/11 ～ 4/27	図書館見学ツアー、MyOPAC 説明会	全館
4/24	第 1 回文系図書委員会（陪席）	千代田
5/ 7 ～ 5/25	データベース検索入門講座	千代田・多摩
6/ 2	第 1 回総合情報センター運営委員会	千代田
6/17	オープンキャンパス	千代田・多摩
6/19	第 2 回文系図書委員会（陪席）	千代田
7/ 5	第 1 回家政系図書委員会（陪席）	千代田
7/13 ～ 9/21	夏休み貸出	全館
7/22	オープンキャンパス	千代田・多摩
7/30	総合情報センター ホームページのリニューアル	全館
8/ 4 ～ 8/ 5	オープンキャンパス	千代田
8/12	オープンキャンパス	多摩
9/ 9	オープンキャンパス	多摩
10/ 7	オープンキャンパス	千代田
10/13	日本文学科・国文科主催「貴重書・新収図書資料展」へ資料貸出	千代田
10/15 ～ 11/10	読書週間特別企画「1 人 10 冊まで貸出！」キャンペーン	全館
10/20	オープンキャンパス	千代田
10/21	オープンキャンパス	多摩
10/29 ～ 12/22	大妻女子大学国文学会・千代田区立図書館連携事業「谷崎潤一郎と映画」展へ資料貸出	千代田
12/7 ～ 1/18	冬休み貸出	全館
12/ 8	オープンキャンパス	千代田
1/21 ～ 4/12	春休み貸出	全館
2/16	大妻コタカ記念会 文化講演会「百人一首の編纂～その選歌について～」へ資料貸出	千代田
2/20	大妻女子大学学術情報リポジトリを試験公開	全館
昨年度～	NHK サービスセンター主催「宮沢賢治・詩と絵の宇宙」へ資料貸出（返却予定：平成 26 年 3 月）	千代田

千代田校展示記録（2012/4/1 ～ 2013/3/31）

日　付	展示テーマ
4/9 ～ 4/21	雛の世界へようこそ
4/27 ～ 5/30	テーマは、ロマエ
6/1 ～ 6/30	United Kingdom
6/17	オープンキャンパス貴重書展示
7/5 ～ 7/31	激突！平氏 VS 源氏
7/22	オープンキャンパス貴重書展示
8/4 ～ 8/5	オープンキャンパス貴重書展示
8/9 ～ 9/19	南総里見八犬伝
9/24 ～ 10/16	推敲する賢治
10/7	オープンキャンパス貴重書展示
10/9 ～ 11/10	「秋の夜長に読みたい本」POP 応募作品展
10/20	オープンキャンパス貴重書展示
11/19 ～ 12/20	「ほっこりする本」POP 応募作品展
12/4 ～ 12/18	「『図書館』」貸します」応募作品展
1/8 ～ 1/31	百人一首かるた
2/4 ～ 2/28	映画の原作
3/5 ～ 3/23	大妻についての本

2012年度
図書館グループ業務報告

図書館統計

1. 図書所蔵数

2013.3.31 現在　（単位：冊）

	千代田	狭山台	多　摩	合　計
和　書	150,045	83,334	100,025	333,404
洋　書	39,487	19,506	24,992	83,985
合　計	189,532	102,840	125,017	417,389

※雑誌製本を除く

2012 年度末、図書資料の各図書館と全体の蔵書数を表す。

2. 配置別図書受入数

（単位：冊）

	図　書						製本雑誌		計
	和　書	洋　書	消　耗		千鳥会	計			
			和書	洋書			和	洋	
千代田	2,710(115)	752(443)	523(8)	0	455	4,440（566）	275	221	4,936(566)
狭山台	199(12)	11(0)	169(13)	0	90	469（25）	0	0	469(25)
多　摩	2,278(15)	31(2)	637(1)	0	398	3,344（18）	300	145	3,789(18)
合　計	5,187(142)	794(445)	1,329(22)	0	943	8,253（609）	575	366	9,194(609)

※（ ）内は寄贈図書　受入数には寄贈数を含む

３館別の受入冊数を表す。

3. 分類別図書受入数

（単位：冊）

	和　書				洋　書				合　計
	千代田	狭山台	多　摩	計	千代田	狭山台	多　摩	計	
総　　記	169	6	145	320	5	6	7	18	338
哲学・心理学	114	13	160	287	18	0	3	21	308
歴史・地理	251	33	249	533	45	3	1	49	582
社会科学	851	71	979	1,901	105	1	5	111	2,012
自然科学	263	34	262	559	1	0	0	1	560
工　　学	222	60	194	476	0	0	1	1	477
産　　業	59	13	95	167	1	0	0	1	168
芸術・体育	161	15	176	352	25	0	0	25	377
言　　語	176	8	90	274	69	0	0	69	343
文　　学	879	118	330	1,327	481	1	14	496	1,823
そ　の　他	543	87	633	1,263	2	0	0	2	1,265
合　　計	3,688	458	3,313	7,459	752	11	31	794	8,253

2012 年度の新収図書を日本十進分類法 (NDC) によって分類したものである。

2011 年度と比べて文学分野の受入が大幅に増えた。これは、故徳永昭三先生より文系図書室への寄贈図書 (498 冊) が含まれているためである。

4. 図書受入数の推移

（単位：冊）

		2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
和 書	千代田	3,913	2,598	3,495	3,196	3,688
	狭山台	987	823	796	701	458
	多　摩	4,714	3,105	3,626	3,195	3,313
	計	9,614	6,526	7,917	7,092	7,459
洋 書	千代田	454	421	397	453	752
	狭山台	15	7	6	5	11
	多　摩	621	206	203	93	31
	計	1,090	634	606	551	794
合　計		10,704	7,160	8,523	7,643	8,253

※雑誌製本を除く

5. 視聴覚資料所蔵数

2013.3.31 現在　（単位：点）

	視聴覚資料
千　代　田	2,106
狭　山　台	919
多　　摩	3,584
合　　計	6,609

6. 視聴覚資料受入数

（単位：点）

	CD	ビデオテープ	DVD	合　計
千　代　田	17	0	152	169
狭　山　台	2	0	14	16
多　　摩	110	2	52	164
合　　計	129	2	218	349

7. その他資料受入数

（単位：点）

	マイクロフルム	マイクロフィッシュ	CD-ROM	DVD-ROM	合　計
千　代　田	0	0	27	17	44
狭　山　台	0	0	0	0	0
多　　摩	0	0	8	2	10
合　　計	0	0	35	19	54

千代田校では、AV・情報メディアルームリニューアルの際にカセットデッキを設置しなかったため、カセットテープをすべて廃棄した。
狭山台校で受け入れたＤＶＤのほとんどは「大妻教養講座」関連である。
多摩校では利用頻度の高いビデオテープのうち DVD が発売されているものは買い替えを行った。

8. 所蔵逐次刊行物タイトル数

2013.3.31 現在　（単位：種）

	千代田	狭山台	多　摩	タイトル合計
和　雑　誌	3,434	1,085	1,372	5,008
洋　雑　誌	724	491	432	1,475
合　　計	4,158	1,576	1,804	6,483

※タイトル合計は重複を除く

9. 継続購入逐次刊行物分類別タイトル数

2013.3.31 現在　（単位：種）

	和　雑　誌				洋　雑　誌				タイトル合計
	千代田	狭山台	多　摩	タイトル数	千代田	狭山台	多　摩	タイトル数	
総　　記	74	34	57	104	33	30	19	43	147
哲学・心理学	5	3	14	17	11	2	15	24	41
歴史・地理	10	2	16	23	9	2	15	23	46
社会科学	101	25	94	182	48	25	47	87	269
自然科学	38	3	23	54	37	3	14	48	102
工　　学	59	16	31	87	14	15	6	20	107
産　　業	7	4	9	17	4	4	1	5	22
芸術・体育	35	5	17	45	7	5	5	12	57
言　　語	11	6	11	19	61	6	5	62	81
文　　学	62	16	26	72	56	16	7	62	134
合　　計	402	114	298	620	280	108	134	386	1,006

※タイトル数およびタイトル合計は重複を除く

10. 契約電子ジャーナル・データベース

契約電子ジャーナル
Science Direct
JSTOR
EBSCOhost/Academic Search Elite
日経 BP 記事検索サービス

契約データベース	
新聞記事等	聞蔵 II ビジュアル
	毎日 News パック
	ヨミダス歴史館
	日経テレコン 21
	JIJI-Web
	Library PressDisplay
雑誌論文等	大宅壮一文庫 雑誌記事索引検索 Web 版
	雑誌記事索引集成データベース
	JapanKnowledge+NRK
	近代作家原稿集：滝田樗陰旧蔵
	科学技術文献速報 . 化学・化学工業編 (国内編)
	Westlaw Japan（日本法データベース）
	Literature Online
	MLA International Bibliography
	Literature Resource Center
	ProQuest Dissertations & Theses（人文社会系）
	Marquis Biographies Online（Marquis Who's Who）
	Books in Print with Book Reviews
	CSA linguistics and language behavior abstracts
	Women and Social Movements, in the United States 1600-2000

11. 図書費決算報告

2013.3.31 現在（単位：円）

		予算額	執行額	残額
家政系	被服学科	3,231,000	3,075,847	155,153
	食物学科	3,231,000	2,970,750	260,250
	児童学科	3,231,000	3,088,728	142,272
	ライフデザイン	3,231,000	3,162,369	68,631
	短大・家政科	400,000	295,687	104,313
文系	日本文学系	18,321,000	18,303,511	17,489
	英文系	15,064,000	15,050,293	13,707
	コミュニケーション	7,430,000	7,415,750	14,250
文系・家政系共通		8,881,000	8,861,298	19,702
多摩	社会情報学部	6,732,000	6,542,029	189,971
	人間関係学科	3,285,000	3,277,183	7,817
	人間福祉学科	2,070,000	1,614,368	455,632
	比較文化学部	8,871,000	8,828,735	42,265
	共通	5,992,000	5,979,990	12,010
附置研		700,000	663,531	36,469
図書館		7,677,350	7,654,205	23,145
合計		98,347,350	96,784,274	1,563,076

※博物館・キャリア教育センター・教職総合支援センターの合計 383,350 円は図書館に含む

12. 高額資料一覧

（単位：円）

形　態	書　　名	数　量	金　額（税込）	配　置
和　　書	古活字版曾我物語	12 冊セット	4,725,000	千代田
データベース	日経テレコン２１	フリー	1,833,300	
データベース	Literature Resource Center	1 アクセス	1,396,233	
データベース	Books in Print with Book Reviews	4 アクセス	881,138	千代田
データベース	聞蔵 II ビジュアル	2 アクセス	876,960	
データベース	Academic Search Elite	フリー	873,900	
データベース	Literature Online-the Complete Collection	フリー	738,876	
データベース	Japan Knowledge プラス NRK	2 アクセス	655,200	
データベース	日経 BP 記事検索サービス大学版	フリー	630,000	
データベース	MLA International Bibliography	1 アクセス	531,600	
和　　書	大正初期映画物語ジゴマ 14 種	14 冊セット	501,890	千代田
データベース	ProQuest Dissertations & Theses（人文社会系）	フリー	443,000	千代田
データベース	ヨミダス歴史館	1 アクセス	408,240	
データベース	雑誌記事索引集成データベース	1 アクセス	378,000	
データベース	Library Press Display	3 アクセス	320,974	
データベース	JIJI Web	1 アクセス	302,400	
合　　計			15,496,711	

30 万円以上で購入した資料を掲載した。

新聞データベースの利用が増えているが、その影響で日経テレコン 21 は契約金額が昨年度より約 8 割値上がりした。

13. 開館日数

（単位：日）

	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
千　代　田	289	280	277	286	287
狭　山　台	273	262	257	266	268
多　　摩	290	280	276	279	283

14. 入館者数

（単位：人）

	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
千　代　田	56,106	57,297	59,656	59,980	52,685
狭　山　台	22,638	18,069	21,152	19,238	19,041
多　　摩	51,986	49,496	53,625	50,850	50,167

15. 学部別館外貸出人数

（単位：人）

家政学部	文　学　部	社会情報学部	人間関係学部	比較文化学部	短期大学部	大　学　院
3,772	5,539	1,745	2,807	3,105	1,194	370

16. 貸出冊数推移

	年 度	冊 数	人 数
千　代　田	2008 年度	16,798	9,197
	2009 年度	17,222	9,602
	2010 年度	18,337	10,252
	2011 年度	19,540	10,596
	2012 年度	17,067	9,235
狭　山　台	2008 年度	5,285	3,035
	2009 年度	4,682	2,710
	2010 年度	7,604	4,286
	2011 年度	5,301	3,125
	2012 年度	4,822	2,902
多　　摩	2008 年度	14,836	7,630
	2009 年度	13,951	7,346
	2010 年度	16,020	8,470
	2011 年度	15,598	8,332
	2012 年度	16,780	8,516

各館とも入館者が減少している。それに伴い千代田校・狭山台校では貸出冊数も減少した。

しかし、多摩校では入館者が減少しても、貸出冊数・貸出人数は増加しており、過去５年間の中でも最高値を記録した。

17. 逐次刊行物利用統計

	所属		冊数	人数
千代田	家政学部	被服	22	8
		食物	98	48
		児童	62	26
		ライフデザイン	13	10
	文学部	日文	2,404	1,023
		英文	50	24
		コミ文	207	53
	多摩		15	7
	短大	家政	0	0
		国文	84	64
		英文	14	3
	大学院	人間生活	52	19
		言語文化	159	68
		現代社会	0	0
		臨床心理	41	10
	教職員		395	144
	その他		130	55
	小計		3,746	1,562

	所属		冊数	人数
多摩	社会情報学部		33	17
	人間関係学部		280	143
	比較文化学部		157	48
	千代田		0	0
	大学院	人間生活	0	0
		言語文化	1	1
		現代社会	0	0
		臨床心理	36	22
	教職員		104	40
	その他		29	12
	小計		640	283
合計			4,386	1,845

※バックナンバーのみ
※狭山台校は開架のため統計実施せず
※その他には中高・非常勤含む

千代田校では、文学部の逐次刊行物利用冊数・人数とも年々増加している。
多摩校では例年になく利用が少なかった 2011 年度よりは増加したが、2010 年度と比較すると減少している。

18. 視聴覚資料利用点数

（単位：点）

	ビデオテープ	CD	DVD	LD	音声テープ	合計
千代田	13	18	624	0	0	655
狭山台	7	9	142	2	0	160
多摩	71	35	1,675	0	0	1,781

※所蔵・持込合計

千代田校・多摩校では所蔵資料数の増加に伴い、利用点数も増加傾向にある。
逆に資料を新規購入していない狭山台校では利用点数が減少している。

19. 学外相互協力

（単位：件）

		2010年度			2011年度			2012年度		
		紹介状	文献複写	資料貸借	紹介状	文献複写	資料貸借	紹介状	文献複写	資料貸借
千代田	依頼	26	101	1	11	108	4	12	97	8
	受付	21	63	0	19	63	0	21	66	0
狭山台	依頼	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	受付	0	0	0	0	0	0	0	1	0
多摩	依頼	14	129	3	9	106	6	5	201	7
	受付	1	13	0	3	2	0	3	24	0
合計	依頼	40	230	4	20	214	10	17	298	15
	受付	22	76	0	22	65	0	24	91	0

※謝絶を含む

2012 年度文献複写依頼内訳

（ ）内は紀要

	教員	学生	計
家政系	54 (5)	22 (3)	76 (8)
文系	14 (6)	7 (3)	21 (9)
千代田計	68 (11)	29 (6)	94 (17)
社会情報学部	141 (9)	2 (1)	143 (10)
人間関係学部	23 (7)	14 (5)	37 (12)
比較文化学部	11 (3)	10 (6)	21 (9)
多摩計	175 (19)	26 (12)	201 (31)

2012 年度　図書館企画

1．　POP 大募集　　あなたのお気に入りの本を POP で教えてください

第１回
10月９日～11月10日

「秋の夜長に読みたい本」
応募作品

第２回
11月19日～12月20日

「ほっこりする本」
応募作品

2.「『図書館』」貸します」

あなたの作品を図書館で展示してみませんか？千代田校本館では館内にある展示ケースを皆さんに最大 15 日間貸出します。

応募作品展

写真左・中：「大妻力」プロジェクト「和胡桃ワークショップ」による作品
写真右：本学食育ボランティアグループ「ぴーち」による手工芸品

2012 年度　ラーニング コモンズ・イベント

	日時	タイトル	講師
第１回	４月 21 日 (土)	雛の世界へようこそ	家政学部児童学科 是澤博昭 准教授
第２回	５月 19 日 (土)	スペシャルな靴選び	大妻女子大学博物館 真家和生 教授
第３回	６月 16 日 (土)	モーツアルトの「月」の女王 ―『魔笛』を図像学ふうに	比較文化学部長 原 研二 教授
第４回	７月 14 日 (土)	サムライは強くてかっこいい存在か。 …平家物語から能へ - 敦盛を中心に -	文学部日本文学科 小井土守敏 准教授
第５回	10 月６日（土）	ネネムからノルデ、そしてグスコン・ブドリからグスコー・ブドリへ ―宮沢賢治〈グスコー・ブドリ〉の転生	文学部日本文学科 杉浦 静 教授
第６回	10 月 27 日（土）	フルートとギターの楽しみ	文学部 柏木由夫 教授 河野 武 教授
第７回	11 月 17 日（土）	更紗 ―模様と色でたどるバティックの多彩な世界	呑山委佐子 本学名誉教授
第８回	12 月８日（土）	大妻良馬の人と思想	花村邦昭 大妻学院理事長

第１回

雛の世界へようこそ

是澤博昭 准教授

第２回

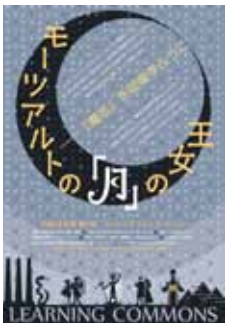
スペシャルな靴選び

真家和生 教授

第３回

モーツアルトの「月」の女王―『魔笛』を図像学ふうに―

原 研二 教授



第４回

サムライは強くてかっこいい存在か。
…平家物語から能へ
- 敦盛を中心に -

小井土 守敏 准教授

第５回

ネネムからノルデ、そしてグスコン・ブドリからグスコー・ブドリへ ― 宮沢賢治〈グスコー・ブドリ〉の転生 ―

杉浦 静 教授

第６回

フルートとギターの楽しみ

柏木由夫 教授
河野 武 教授

第７回

更紗 ― 模様と色でたどるバティックの多彩な世界

名誉教授
呑山 委佐子 氏

第８回

大妻良馬の人と思想

花村邦昭
大妻学院理事長

■メディア教育開発グループ

1．授業支援

メディア教育開発グループでは、３キャンパスの語学関係教室（CALL・LL)、視聴覚教室、情報処理実習室、情報処理自習室や授業用情報システムの維持・管理・運用を担当し、それらの施設・設備を利用して行われる授業や学生の主体的学習が効率的、効果的に行われるよう以下の支援を行った。

また、学内システムのうち、教育用情報システムについてはメディア教育開発グループが担当しており、そのために必要なネットワークの維持・管理・運用を行った。視聴覚機器やパソコン、ネットワークなどに関する教員・学生からの問い合わせ（学生指導含む）については、ヘルプデスク業務として対応した。

1）情報処理・語学関係実習室における授業への支援

［支援内容］

《千代田校・多摩校・狭山台校共通》

・情報処理関連教室施設、設備の設計（事業計画予算申請等）
・情報処理関連教室施設、設備の維持管理、運用（メンテナンス実施、定期保守点検契約等）
・教員、職員、学生等への情報処理関連教室施設・設備に関する取扱説明
・統合認証システム（ＡＤサーバ）維持管理、運用
・学内システム利用アカウント（教員等）の発行、管理
・ファイルサーバ（学生用・教員用ホームフォルダ、Public フォルダ）設定、管理
・教員貸出用大妻 Web メールアカウント管理
・プリンタ履歴システム管理、運用

《千代田校、狭山台校情報処理教室、情報処理自習室関係》

・授業補佐
・情報処理関係科目（教養教育）担当授業補助員のリクルート及び労務管理
・情報処理教室、情報処理自習室ホームページ (教室利用の手引き) 更新

《多摩校情報処理実習室関係》

・実習室ホームページ更新
・教師用「実習室利用の手引き」作成
・コンピュータシステム運営委員会（社会情報学部）

［教室使用状況］

千代田校		前　期	後　期
情報処理教室	（４教室）	68 時限／週	52 時限／週
CALL 教室	（１教室）	９時限／週	13 時限／週
多　摩　校		前　期	後　期
情報処理実習室	（４教室）	63 時限／週	60 時限／週
情報処理・LL 教室	（５教室）	54 時限／週	49 時限／週
LL 教室	（１教室）	13 時限／週	15 時限／週
PC 兼用教室	（１教室）	11 時限／週	12 時限／週
理科実験室	（１教室）	７時限／週	４時限／週
狭 山 台 校		前　期	後　期
情報処理教室	（１教室）	14 時限／週	13 時限／週
CALL 教室	（１教室）	９時限／週	10 時限／週

2）視聴覚教室における授業への支援

・視聴覚教室施設、設備の設計（事業計画予算申請等）
・視聴覚教室施設、設備の維持・管理（メンテナンス実施、定期保守点検契約等）
・教員、職員、学生へ視聴覚教室施設・設備に関する取扱説明（各キャンパスとも随時実施）

3）普通教室、実験・実習室における授業への支援

・視聴覚機器の貸出し・操作説明等（定時、不定時）

4）遠隔授業に関する支援

・FD 講演会　(2012.5.31)　千代田校（155 教室）→多摩校（7114 教室）
・FD 講演会　(2012.6.4)　多摩校（7114 教室）→千代田校（155 教室）
・FD 勉強会　(2013.3.7)　千代田校（155 教室）→多摩校（7114 教室）
・FD 勉強会　(2013.3.8)　多摩校（7114 教室）→千代田校（155 教室）

5）スタジオ（含む、メディア制作ルーム）を利用する授業への支援

・スタジオ利用授業の機器操作指導・補佐、番組制作のための機器貸出し・操作指導
・設置機器の維持管理
・ビデオ編集作業の指導・補佐等
　a)「アナウンス演習」におけるスタジオ利用授業時の機器操作指導・補佐
　b)「インタビュー演習」におけるスタジオ利用授業、ビデオ編集作業時の機器操作指導・補佐
　c)「卒業制作」「卒業論文」におけるビデオ編集作業の指導・補佐
　d)「ゼミ」におけるビデオ編集作業の指導・補佐
・スチル撮影（照明セッティング等含む）
　a) 研究における制作物、研究対象のスチル撮影「共同研究」「千代田区の連携協力」等

6）ヘルプデスク業務

・パソコン及びプリンタ等の設定及び不具合対応
・ネットワーク関連機器接続の設定及び不具合対応
・アプリケーションに関する導入支援、操作説明等
・ウィルス対策（ソフトウェア導入支援・操作説明、ウィルス駆除等）
・メール全般に関する支援（送受信、転送設定等）
・視聴覚教室等でのパソコン接続（出力設定、ネットワーク接続等）に関する操作説明
・視聴覚教室等におけるＡＶ機器（操作卓等）の操作説明

7）情報処理自習室の維持・管理及び学生指導

千代田校	情報処理自習室（本館地下２階）PC 席数：６０席	
	期　　間	2012年４月１日～2013年１月３０日　月～土 ※本館解体のため、例年より期間を短縮
	時　　間	月～土　９：００～１８：００
	利用者数	延べ３７，０５０名
	メディア制作ルーム（本館８階）PC 席数：１２席　AV 席数：２席	
	期　　間	2012年４月１日～2013年１月３０日　月～土 ※本館解体のため、例年より期間を短縮
	時　　間	月～金　９：００～１７：００　　土　９：００～１２：３０
	利用者数	延べ１，７１４名
多 摩 校	情報処理自習室（図書館棟２階）　PC 席数：６０席	
	期　　間	2012年４月１日～2013年３月３１日　月～金
	時　　間	通常　９：００～１６：１０
	利用者数	延べ２３，６３３名

※情報処理関係の自習のため、情報処理自習室の他に関係教室を授業で使用していない時間は、自習用として開放している。

8）授業以外への機器貸出し・操作説明など

・学内・学外団体関係（学会・講演会、講習会他）
・事務局関係（入学式、卒業式、オープンキャンパス、各種ガイダンス、入試関係、学園祭等）

2．補完教育

1）課外英語力強化プログラム

本講座は学生が正規授業の履修状況にあわせて、毎日１コマ（40 分）、週５日（年間 100 コマ）のスケジュールを各自で作成し受講するプログラムで、毎回の講座の他に自由に会話ができるＥＣ（English Challenge）の時間も用意されている。講座内容は、インタラクティブな活動を中心としたグループレッスン（12 名以内）で構成されている。

2012 年度の担当講師は、アメリカ、イギリス、オーストラリアの出身者で、英語を母語としない人への英語教授資格（ＴＥＳＯＬ，ＴＥＦＬ，ＣＥＬＴＡ等）の有資格者である。そのほか年２回（前期１回、後期１回）ＴＯＥＩＣ ＩＰテストを実施している。

2012 年度の講座実績は以下のとおりである。

◆ 2012 年度受講者数

単位：人

千 代 田	102（16）
多　　摩	131（15）
狭 山 台	96
合　　計	329（31）

※（ ）内は継続者数

ＴＯＥＩＣ IP テスト実施については各自の英語力を確認することを目的としている。目的達成のためなるべく多くの学生に受験してもらい、その後の講座出席に役立ててもらえるように講座開始と共に日程を決め募集をしている。

また、通常の講座とは別にＥＣの時間を使って試験の傾向と対策講座などを実施している。

受験状況は下記のとおりである。

◆ 2012 年度 TOEIC IP テストについて

	前　期				後　期			
	受験者数	平均点	500 点以上の学生数	最高点	受験者数	平均点	500 点以上の学生数	最高点
千代田	６人	４１５点	１人	７４０点	９人	３８３点	１人	６５５点
多 摩	１２人	４４２点	３人	５５０点	３３人	３９２点	３人	６６０点
狭山台	１２人	４０２点	３人	５４０点	２１人	３７７点	０人	－
合　計	３０人		７人		６３人		４人	

2）課外パソコン講習

2012 年度は、ビジネスアプリケーションである Word、Excel 等の講座に加え、パソコン検定（Ｐ検）講座を開講した。また、その他に医療事務コンピュータ講座といった講座も実施した。

なお、各講座の最終回には実技試験と知識試験を実施し、合格者には認定団体より認定書を発行している。

2012 年度の講座受講者及び受験状況は下記の通りである。

◆ 2012 年度受講者数（延べ数）

単位：人

千代田	１６１
多 摩	１１６
狭山台	２３
合　計	３００（２３９）

※（ ）内は資格取得者

3．教材制作

教材制作業務として、主に視聴覚教材の制作及び制作支援、各種素材のデジタル化を行っており、具体的には、ビデオ収録･編集、ＰＣ再生用のオーディオ･ビデオデータの制作、紙原稿･スライド等のデジタルデータ化･データ変換などを行った。印刷関係ではカラーコピー・拡大印刷などを中心に作成を行った。

以下は、2012 年度各学部・学科などから依頼された主な教材の制作数である。

教材制作担当部署	内　　容	年間制作数
千　代　田　校	音声関係	30 本
	映像関係	484 本
	ＰＣ関係（紙原稿・スライド等のデジタルデータ化）	296 点
	印刷関係	3,291 枚
	（うち拡大印刷）	431 枚
多　　摩　　校	音声関係	0 本
	映像関係	19 本
	印刷関係	162 枚
	（うち拡大印刷）	162 枚
狭　山　台　校	音声関係	0 本
	映像関係	34 本

4.千代田校新校舎建築関係

・情報処理関連教室 (情報処理自習室含む) 施設、設備の設計

情報処理教室	2 教室
CALL・メディア制作教室	1 教室
CALL 教室	1 教室
情報処理自習室	1 室
3 階ホール	1 箇所
5 階ホール	1 箇所
大学院生室	1 室
大学院ミーティング室	1 室
教職実践演習室	1 室

・視聴覚教室施設、設備の設計

視聴覚教室（AV 機器設置教室）	9 教室

5．その他の業務

1）私立大学情報教育協会（私情協）関係

・会議及び研修会等案内の学内配布及び参加申込受付
・通常総会及び臨時総会出席
・アンケート調査回答
・機関誌学内配布
・その他

2）補助金及び各種調査への対応

・2012 年度私立大学経常費補助金（学生経費に係わる調査［ICT］）
（日本私立大学振興・共済事業団）
・2012 年度学術情報基盤実態調査（文部科学省）
・2012 年度私立大学等経常費補助金の交付申請に係る資料の提出
（日本私立大学振興・共済事業団）
・2011 年度～ 2012 年度に実施を予定している事業の調査（文部科学省）
・2011 年度私立大学情報化投資額調査（私立大学情報教育協会）
・2012 年度私立大学高度情報化補助金活用調査（私立大学情報教育協会）
・情報セキュリティ対策の自己点検・評価（私立大学情報教育協会）

3）地域貢献イベント

・セント・ジョンズ・カレッジ聖歌隊コンサート
（打合せ、渉外、舞台進行、進行台本確認、記録撮影など）
・さくらフェスティバル 2013（打合せ、渉外、舞台進行、進行台本確認、記録撮影など）

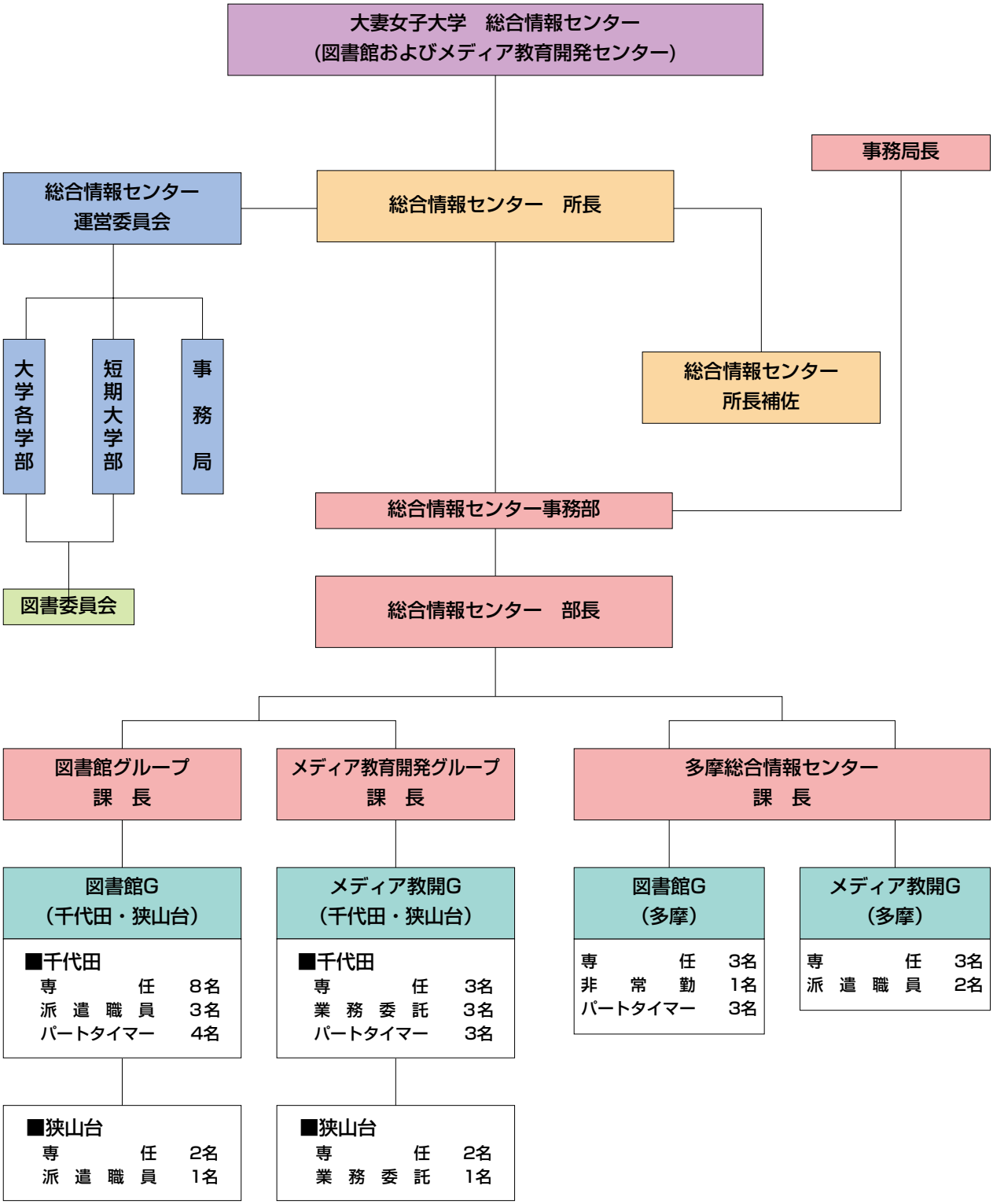
4）各種研修会などへの参加

・外国語教育メディア学会（ＬＥＴ）、他

5）学内行事、他

・2013 年度事業計画予算申請
・2012 年度入学式、卒業式関係（舞台進行、進行台本確認、各種音源作成、記録撮影など）
・オープンキャンパスサポート（千代田）
・入学試験関係（一般入試、大学入試センター試験）
・定期試験関係業務（試験監督）
・2012 年度学園祭関係（打合せ、事前点検、機器貸出し、操作説明、事後点検など）
・各部署スタッフミーティング開催（随時）
・全部署合同ミーティング開催
・千代田校本館への移転に伴う業務

2012年度　総合情報センター組織



大妻女子大学 総合情報センター規程

平成 20 年 5 月 29 日制定
平成 22 年 7 月 27 日改訂

（趣旨）

第１条　この規程は、大妻女子大学学則（昭和 48 年 4 月 1 日制定）第 39 条第 3 項及び大妻女子大学短期大学部学則（昭和 49 年 4 月 1 日制定）第 39 条第 2 の規定に基づき、大妻女子大学総合情報センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

（目的）

第２条　センターは、大妻女子大学及び大妻女子大学短期大学部（以下「大学及び短期大学部」という。）共通の附属施設として、教育・研究に必要な図書、電子情報、その他各種資料（以下「図書資料」という。）を収集、所蔵し、教職員、学生等の利用に供するとともに、情報メディア環境を活用した教育・学習活動等への支援と、そのために必要な開発業務を行うことをもって、本学の教育・研究の充実発展に寄与することを目的とする。

（業務）

第３条　センターは、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

(1)　図書資料の収集、組織化、保管、利用者への提供、及び図書館間の相互利用に関する業務
(2)　大学及び短期大学部、並びに学校法人大妻学院（以下「学院」という。）が関与する著作権に関する業務
(3)　大学及び短期大学部教員に関する教育・研究用データベースの構築と教育・研究用外部資金確保に関する業務
(4)　情報メディア教育システムの企画・開発、維持・管理、安定的な運用及びセキュリティ維持に関する業務
(5)　ネットワークなどの情報メディア環境を利用した教育・学習活動への支援とそれらに必要な開発業務
(6)　教職員に対する情報処理及び情報メディア教育関連の講習に関する業務
(7)　学生に対する情報処理及び情報メディア等の補完教育の計画、立案並びにこれらに関する業務
(8)　学院の要請による情報処理及び情報メディアに関する業務
(9)　前各号に掲げるもののほか、センターの運営に関する業務

２　前項の業務を行うため、センターに図書館とメディア教育開発センターの２施設及び総合情報センター事務部（以下「事務部」という。）を置く。事務部に図書館グループとメディア教育開発グループを置く。

（組織）

第４条　センターに次の教職員を置く。

(1)　所長１名
(2)　事務部部長１名
(3)　事務部課長若干名
(4)　事務部職員

２　所長は、本学専任教授の中から学長が推薦し、理事長が任命する。任期は、2 年とし、再任を妨げない。

３　所長は、事務部を統轄し、センターの業務を掌理する。また、所長に事故のあるときは、所長があらかじめ指名した者がその職務を代行する。

４　センターに所長補佐を置くことができる。

（運営委員会）

第５条　センターの管理・運営の円滑化、効率化を図るため、センター運営委員会を置く。

２　センター運営委員会の規程は、別に定める。

（運営細則への委任）

第６条　この規程に定めるもののほか、センターの管理・運営について必要な事項は、別に定める。

（規程の改廃）

第７条　この規程の改廃は、センター運営委員会の議を経て理事会において定める。

附　則

１　この規程は、平成 20 年 5 月 29 日から施行し、平成 20 年 4 月 1 日から適用する。

２　大妻女子大学図書館規則（昭和 60 年 4 月 1 日制定）及び大妻女子大学情報メディアセンター規程（平成 13 年 5 月 25 日制定）は、廃止する

附　則

この規程は、平成 22 年 7 月 27 日から施行し、平成 22 年 4 月 1 日から適用する。

大妻女子大学 総合情報センター運営委員会規程

平成 20 年 6 月 13 日制定
平成 23 年 6 月 4 日改訂

（趣旨）

第１条　この規程は、大妻女子大学総合情報センター規程（平成 20 年 5 月 29 日制定）第 5 条第 2 項の規定に基づき、大妻女子大学総合情報センター運営委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関して必要な事項を定める。

（所掌事務）

第２条　委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

(1)　総合情報センター（以下「センター」という。）の運営の方針及び大綱に関する事項
(2)　センター規程及びセンター運営委員会規程等の改廃に関する事項
(3)　センターの運営に関する予算の大綱に関する事項
(4)　図書資料収集と管理の基本方針に関する事項
(5)　情報処理及び情報メディア教育に関する施設設備の整備に関する事項
(6)　その他センターの運営に関し必要な事項

（組織）

第３条　委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

(1)　センター所長
(2)　家政学部長、文学部長、社会情報学部長、人間関係学部長、比較文化学部長及び短期大学部長
(3)　大学院研究科長
(4)　各学部及び短期大学部から選出された専任教員各２名
(5)　事務局長、教育支援センター部長、学生支援センター部長、多摩事務部長及び狭山台校事務長
(6)　センター事務部部長、課長
(7)　その他所長の委嘱する者若干名

２　前項第 4 号及び第 7 号の委員の任期は、１年とする。ただし、再任を妨げない。

（委員長）

第４条　委員会に、委員長を置く。

２　委員長は、センター所長をもって充てる。
３　委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。
４　委員長に事故のあるとき、または委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

（会議）

第５条　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

２　委員会は、委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴取する事ができる。

（庶務）

第６条　委員会の庶務は、センター事務部において処理する。

（補則）

第７条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員会において定める。

附　則

１　この規程は平成 20 年 6 月 13 日から施行し、平成 20 年 4 月 1 日から適用する。
２　大妻女子大学図書館運営委員会規程（昭和 60 年 6 月 1 日制定）及び大妻女子大学情報メディアセンター運営委員会規程 (平成 13 年 5 月 25 日制定) は、廃止する。
３　平成 20 年度については、従前の図書館運営委員と情報メディアセンター運営委員を、本規程第 3 条第 3 号の委員とする。
４　この規程は平成 23 年 6 月 4 日から施行する。

総合情報センター
図書館グループ　及び　メディア教育開発グループ　沿革

	館長及び所長	図書館グループ	メディア教育開発グループ	学　　院
昭和 24 年 （1949 年）	初代館長 清水福市 （S24.4-S45.9）	4 月　大妻女子大学の新制大学移行と同時に発足 旧校舎 2 階に設置 閉架閲覧方式		大妻女子大学設置 （家政学部被服学科・食物学科・家庭理学科・別科）
昭和 32 年 （1957 年）		3 月　書庫充満のため書架増設		
昭和 42 年 （1967 年）		4 月　狭山台校開学　狭山台校分館発足　校舎 3 階	文学部英文学科内に音声言語教育のための機器、教材整備・充実のため　**「LL 研究室」**設置	狭山台校開設 文学部国文学科・英文学科、 短期大学部国文科、英文科設置
昭和 43 年 （1968 年）				大妻女子大学創立６０周年記念式典挙行 （日本武道館）
昭和 44 年 （1969 年）				
昭和 45 年 （1970 年）	館長 加藤菊雄 （S45.9-S49.3）	9 月　千代田校本館完成図書館も本館 1 ～ 2 階に移動 開架閲覧方式に移行、学生用複写機稼動	教育・研究への視聴覚的手法導入に対する熱意の高まりにより、全学的組織「視聴覚教育専門委員会」開催	千代田校舎図書館棟新築完成 図書館研究室本館新築
昭和 46 年 （1971 年）	初代所長 天野一夫 （S46.4-S49.3）		**「視聴覚教育センター」設立** 設立に伴い「視聴覚教育専門委員会」を「視聴覚教育運営委員会」に改称。各学部で管理していた視聴覚機器を視聴覚教育センターで一元管理する。 AAC 型 LL（フルラボ・オープンテープ型ブース）教室設置―LL 授業開始	
昭和 47 年 （1972 年）			千代田校に［教材制作部］［サービス部］、狭山台校に［サービス部］を設置	千代田校記念会館竣工
昭和 48 年 （1973 年）			授業にビデオ教材を使用するため貸出用機器の充実	
昭和 49 年 （1974 年）	館長 廣田榮太郎 （S49.4-S49.5） 館長 黒田巍 （S49.11-S50.3） 所長 渡辺修 （S49.4-S59.3）			
昭和 50 年 （1975 年）	館長 吉田精一 （S50.4-S51.3）		16 ミリ発声映写機操作講習会実施	
昭和 51 年 （1976 年）	館長 黒田巍 （S51.4-S53.3）			
昭和 52 年 （1977 年）				
昭和 53 年 （1978 年）	館長 小幡弥太郎 （S53.4-56.3）	狭山台校分館　増築増床		大妻女子大学創立 70 周年記念式典挙行 （日本武道館）
昭和 54 年 （1979 年）				
昭和 55 年 （1980 年）				
昭和 56 年 （1981 年）	館長 吉田精一 （S56.4-S59.3）			大妻女子大学人間生活科学研究所設置
昭和 57 年 （1982 年）			千代田校 AAC 型 LL 教室をカセット型に改修	
昭和 58 年 （1983 年）		5 月　狭山台校分館　保存書庫竣工		狭山台校保存書庫棟竣工
昭和 59 年 （1984 年）	館長 仙波千代 （S59.4-S63.3） 所長 仙波千代 （S59.4-S60.3）		狭山台校 AAC 型 LL 教室をカセット型に改修	
昭和 60 年 （1985 年）	所長 磯田浩 （S60.4-S61.3）		**「情報処理・視聴覚教育センター」**に名称変更	
昭和 61 年 （1986 年）	所長 仙波千代 （S61.4-S63.3）			千代田校 A 棟、大妻体育館竣工
昭和 62 年 （1987 年）				
昭和 63 年 （1988 年）	館長 加藤憲一 （S63.4-H2.3） 所長 坂下潔 （S63.4-H5.3）	4 月　多摩校開学　図書館棟 4 階に多摩校分館発足	多摩キャンパス開校に伴い 情報処理・視聴覚教育センター［サービス部］設置 多摩校でパソコン使用の授業が始まり情報処理関係教室の管理実施。 LL 教室 1 教室、情報処理教室 1 教室、スタジオ等設置	多摩校開設 短期大学部 （生活科、日本文学科、実務英語科）設置 千代田校 B 棟竣工
平成元年 （1989 年）				大妻女子大学創立８０周年記念式典挙行 （日本武道館）
平成 2 年 （1990 年）	館長 隈部直光 （H2.4-H4.3）			千代田校旧校舎閉鎖　C 棟竣工
平成 3 年 （1991 年）			千代田校教養科目『情報処理概論』の授業開講のためサポート開始	

総合情報センター
図書館グループ　及び　メディア教育開発グループ　沿革

	館長及び所長	図書館グループ	メディア教育開発グループ	学　　院
平成４年 （1992 年）	館長：伊藤博 （H4.4-H8.3）	９月　学長の諮問により、図書館及び情報処理・視聴覚教育センター合同運営委員会を開催し、情報処理・視聴覚教育センターの改革案を審議する。 結果、情報処理・視聴覚教育センターサービス部門と社会情報学部計算機室を合併、「情報処理教育センター」とする。 千代田校の教材制作部は「教育工学開発室」とする。 図書館は現スタッフのレベルアップをはかりながら、視聴覚資料の整備、情報システムを活用した他大学との学術情報交流を推進する。 社会情報学部棟内に LAN 敷設		社会情報学部社会情報学科設置 千代田校 D 棟、大妻講堂竣工
平成５年 （1993 年）	所長 磯田浩 （H5.4-H6.3） 初代室長 伊平保夫 （H5.4-H12.3）		**「情報処理教育センター」設立　２部門４部署** 千代田校･狭山台校にサービス部門､多摩校に計算機部門･サービス部門を設置 **「教育工学開発室」設立（千代田校）** ネットワーク名称を "KOTAKA-net" と命名 多摩校 -TRAIN（東京地域アカデミックネットワーク）接続 千代田校 A 棟視聴覚教室を映像ネットワークにより接続	
平成６年 （1994 年）	所長 野崎昭弘 （H6.4-H8.3）	４月　図書館ネットワーク開始 ８月　千代田校本館１階改修工事 10 月　卒論・卒研のための図書館利用指導開始		
平成７年 （1995 年）		２月　千代田校本館２階改修工事　視聴覚ｺｰﾅｰ設置 ４月　図書館ツアー等の利用指導開始 ７月～ 電算化 CALIS ｼｽﾃﾑ事務用本稼動		
平成８年 （1996 年）	館長 野崎昭弘 （H8.4-H10.3） 所長 白川利昭 （H8.4-H12.3）	４月　CALIS 閲覧ｼｽﾃﾑ本稼動・BDS 装置３館に設置 ５月　狭山台校分館新図書館開館（旧研究棟を改修）	多摩校・千代田校ダイヤルアップ接続 "KOTAKA-net" 開始	狭山台校図書館棟竣工
平成９年 （1997 年）			情報処理教育センター主催による英検対策講座、 パソコン対策講座開催（千代田校）	
平成 10 年 （1998 年）	館長 江本裕 （H10.4-H14.3）			大妻女子大学創立 90 周年記念式典挙行 （東京国際フォーラム）
平成 11 年 （1999 年）			千代田校 C 棟情報処理実習室 "KOTAKA-net" へ接続	人間関係学部 （人間関係学科、人間福祉学科）、 比較文化学部（比較文化学科）設置 多摩校学生会館竣工 草稿・テキスト研究所設立
平成 12 年 （2000 年）	所長 村上弘幸 （H12.4-H15.3） 室長 村上弘幸 （H12.4-H13.3）	多摩校分館改修増床　　３階～４階を図書館に		
平成 13 年 （2001 年）			**「情報メディアセンター」設立** 情報処理教育センターと教育工学開発室が合併改組する 千代田校に学習支援部門・教材制作部門、多摩校に計算機部門・学習支援部門、狭山台校に学習支援部門を設置	ネットステーション導入
平成 14 年 （2002 年）	館長 栗原裕 （H14.4-H16.3）	千代田校大学校舎 - 新図書館棟 NTT スーパーワイド LAN で接続	補完教育「課外パソコン講習」「課外英語力強化プログラム」をセンター所管のもと開始	家政学部ライフデザイン学科、文学部コミュニケーション文化学科設置
平成 15 年 （2003 年）	所長 玉井浩 （H15.4-H19.3）	１月　千代田本館新図書館棟に移転 地下２階～地上４階を図書館に入退館ｼｽﾃﾑ導入 地下１階にﾒﾃﾞｨｱｺｰﾅｰを設置 パソコン 40 台と視聴覚ｺｰﾅｰ設置	千代田校に情報メディアセンター　計算機部門設置 各キャンパス各教室情報コンセントで "KOTAK-net" 接続開始	千代田校短期大学部家政科第二部廃止 家政学部、文学部２年生履修地狭山台校から千代田校に変更
平成 16 年 （2004 年）	館長 渡部満彦 （H16.4-H20.3）	４月　文系共同図書室　千代田校図書館４階に仮設置		
平成 17 年 （2005 年）			統合認証システム稼働	事務組織にグループ制導入 大妻学院将来構想検討委員会発足
平成 18 年 （2006 年）				生活科学資料館設置
平成 19 年 （2007 年）	所長 伊藤朋恭 （H19.4-H20.3）			
平成 20 年 （2008 年）	所長 栗原裕 （H20.4 ～）	将来構想検討委員会の答申に基づき「情報メディアセンター」と「図書館」が合併改組される。 ［計算機部門］の一部と［教材制作部門］［学習支援部門］は［メディア教育開発グループ］となる また計算機部門業務の一部はＩＴ化推進室と統合され事務局に新設された「システム管理室」となる。 「総合情報センター」設立 ［千代田校・狭山台校・多摩校 図書館グループ］ ［千代田校・狭山台校・多摩校 メディア教育開発グループ］ 「システム管理室」設立		大妻学院創立１００周年
平成 21 年 （2009 年）		９月　CALIS システムから新システム E-CatsLibrary へ移行		
平成 22 年 （2010 年）		ラーニングコモンズ利用開始	アカウント統合管理ｼｽﾃﾑに AD サーバー組み入れ	
平成 23 年 （2011 年）		ラーニングコモンズリニューアル　備品交換・持ち込みパソコンのインターネット接続環境整備		
平成 24 年 （2012 年）		千代田校図書館　AV・情報メディアルームリニューアル　備品交換		

総合情報センターが管理する学内施設・設備一覧

◆千代田キャンパス

【大学校舎・本館】

	棟	施設仕様	教室	収容数	特記事項
1F	A棟	視聴覚教室	150	315名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓 ディスプレイ（43inch 2台）/映像ネットワーク
			155	168名	VP（2台）/パソコン（持込可）/教材提示卓/映像ネットワーク
			157	132名	VP/パソコン（持込可）/教材提示卓/映像ネットワーク
			164	135名	
			166	107名	パソコン（持込可）/教材提示卓/ディスプレイ（42inch 4台）映像ネットワーク
	C棟	モニターTV教室	182	90名	ディスプレイ（29inch 2台）
2F	A棟	視聴覚教室	250	80名	パソコン（持込可）/教材提示卓/ディスプレイ（37inch 2台）映像ネットワーク
			252	150名	VP/パソコン（持込可）/教材提示卓/映像ネットワーク
			254	150名	VP/パソコン（持込可）/教材提示卓
			257	150名	
			264	135名	パソコン（持込可）/教材提示卓/ディスプレイ（50inch 4台）映像ネットワーク
			266	107名	VP/パソコン（持込可）/教材提示卓
	B棟	情報処理教室	232	68名 （PC68台）	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓 Comschool（Ver.6.0）OS：WindowsXP
			235	32名 （PC32台）	CADシステム/大判プリンタ/製図台配置 パソコン（常設・持込可）/教材提示卓 Comschool（Ver.6.0）OS：WindowsXP
		モニターTV教室	242	79名	ディスプレイ（29inch）
			246	78名	
	C棟	CALL教室	271	64名 （PC64台）	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓 PC@LL ST (Ver.7.5)　OS：Windows7
		モニターTV教室	281	32名	ディスプレイ（29inch）
			282	28名	
3F	A棟	モニターTV教室	357	42名	ディスプレイ（29inch）
		視聴覚教室	366	168名	VP/パソコン（持込可）/教材提示卓
	C棟	情報処理教室	370	60名 （PC60台）	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓 PC@LL DT（Ver.7.5）OS：Windows7
			373	60名 （PC60台）	
4F	A棟	視聴覚教室	450	72名	VP/パソコン（持込可）/教材提示卓
			455	108名	
			457	108名	
			464	135名	
			466	107名	
5F	A棟	視聴覚教室	553	108名	VP/パソコン（持込可）/教材提示卓
			555	108名	
			557	108名	
			564	72名	
		モニターTV教室	565	72名	ディスプレイ（29inch）
			567	71名	
6F	A棟	視聴覚教室	650	72名	VP/パソコン（持込可）/教材提示卓
			653	108名	
			655	108名	
			657	108名	
			664	72名	
地1	校舎地下アトリウム				音響システム装置（マイク/録音再生設備）
地2	本館	情報処理自習室	012	60名 （PC60台）	OS：WindowsXP
1F		モニターTV教室	101	81名	ディスプレイ（29inch）
8F		スタジオ	801	—	映像・音声調整卓（アナログ）設置
		メディア制作ルーム	801	12名 （PC12台）	学生によるコンテンツ制作施設

総合情報センターが管理する
学内施設・設備一覧

【図書館】

	階	施設仕様	座席数	施設タイプ／特記事項
図書館棟	地下	PC コーナー	50 席	プリンター 4 台
	1 F	AV ブース	19 席	ビデオ／DVD／CD
	1 F	事務室 / メインカウンター / 検索コーナー（3 席）/ 新着本コーナー / 展示ケース / 他		
	2 F	閲覧席	124 席	
		開架書架 / レファレンスカウンター / 大型本 / 参考図書 / 検索・コピー各コーナー / 他		
	3 F	閲覧席	140 席	
		個人用ブース	3 席	
		開架書架 / レファレンスカウンター / 絵本 / 検索・コピー各コーナー / 他		
	4 F	閲覧席	87 席	
		ラーニングコモンズ	34 席	
		閉架書庫 / 新着雑誌 / 寄贈雑誌 / 新聞 / 検索・コピー各コーナー / 他		

◆狭山台キャンパス

【1 号館・2 号館】

階	棟	施設仕様	教室	収容数	特記事項
1F	2 号館	視聴覚教室	154	336 名	VP/ パソコン（持込可）/ 教材提示卓
2 F	1 号館	モニターTV 教室	201	53 名	202 室から移動設置可
			202	40 名	ディスプレイ（29inch）
			203	40 名	ディスプレイ（42inch） パソコン（持込可）
			204	49 名	ディスプレイ（29inch）
		視聴覚教室	205	164 名	VP/ パソコン（持込可）/ 教材提示卓
			206	164 名	
			207	81 名	ディスプレイ（42inch 2 台）パソコン（持込可）
			208	210 名	VP/ パソコン（持込可）/ 教材提示卓
			209	140 名	
	2 号館	モニターTV 教室	251	79 名	ディスプレイ（25inch 2 台）
			252	129 名	ディスプレイ（42inch 2 台）パソコン（持込可）
			253	78 名	ディスプレイ（42inch 2 台）パソコン（持込可）
3 F	1 号館	モニターTV 教室	302	56 名	ディスプレイ（29inch）
			303	56 名	ディスプレイ (42inch) パソコン（持込可）
			304	40 名	ディスプレイ (29inch)
			305	49 名	304 室から移動設置可
4 F	2 号館	モニターTV 教室	452	129 名	ディスプレイ (29inch 2 台)
		情報処理教室	451	76 名 （PC76 台）	OS：WindowsXP Comschool（Ver.6.0） パソコン（常設・持込可）/ 教材提示卓
		CALL 教室	456	64 名 （PC64 台）	OS：WindowsXP PC@LL ST 仕様（ver5.5） VP/ パソコン（常設・持込可）/ 教材提示卓

【図書館】

棟	階	施設仕様	座席数	施設タイプ／特記事項
図書館棟	1 F	閲覧席	50 席	
		AV コーナー	25 席	ビデオ／LD／DVD／CD
		事務室 /PC/ 開架書架 / 新着雑誌コーナー / 検索・コピー各コーナー / 他		
	2 F	閲覧席	80 席	
		キャレル	20 席	
		開架書架 / 検索コーナー / 他		
	3 F	キャレル	8 席	
		閉架書庫 / 他		

総合情報センターが管理する
学内施設・設備一覧

◆多摩キャンパス

【比較棟・社情棟・人間棟・図書館棟】

棟	階	施設仕様	教室	収容数	特記事項
比較文化学部棟	1F	視聴覚教室	3100	120名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓
			3122	240名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓/ディスプレイ（43inch 2台）
			3127	132名	VP/パソコン（常設・持込可）/教示提示卓
			3130	130名	
	2F	視聴覚教室	3200	66名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓
		モニターTV教室	3203	28名	ディスプレイ（29inch）
		視聴覚教室	3206	57名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓
			3208	57名	
			3220	69名	
			3223	57名	
		情報処理・LL教室	3225	60名（PC60台）	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓 PC@LL授業支援（Ver.8.0） OS：Windows7
			3230	50名（PC50台）	
	3F	視聴覚教室	3300	84名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓
		モニターTV教室	3303	28名	パソコン（持込可）/教材提示卓/ディスプレイ（42inch）
			3306	57名	ディスプレイ（29inch）
		視聴覚教室	3308	57名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓
			3320	69名	
		モニターTV教室	3323	57名	ディスプレイ（29inch）
			3325	30名	パソコン（持込可）/教材提示卓/ディスプレイ（42inch）
		視聴覚教室	3329	39名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓
		モニターTV教室	3331	39名	ディスプレイ（29inch）
図	2F	情報処理自習室	4264	60名（PC60台）	パソコン（常設・持込可）/教材提示卓 OS：Windows7
社会情報学部棟	1F	基礎化学実験室	6117	28名（PC15台）	ノートPC（常設・持込可） OS:Windows7 VP/教材提示卓
		視聴覚教室	6113	325名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓/ディスプレイ(43inch 2台)
			6153	175名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓
			6155	80名	
			6156	80名	
	2F	情報処理実習室	6215	72名（PC72台）	VP/パソコン（常設・持込可）教材提示卓 PC@LL授業支援（Ver.8.0） OS：Windows7とLinuxのデュアルブート
			6218	72名（PC72台）	
			6254	64名（PC64台）	
			6256	64名（PC64台）	
		視聴覚教室	6212	80名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓
			6213	125名	
			6220	125名	
			6250	125名	
			6252	80名	
			6253	80名	
	3F	PC兼用講義室	6312	42名（PC42台）	VP/パソコン（持込可）/教材提示卓 PC@LL授業支援（Ver.8.0） OS：Windows7とLinuxのデュアルブート
		LL教室	6313	45名（PC40台）	VP/パソコン（持込可）/教材提示卓 OS：Windows7とLinuxのデュアルブート
		情報処理・LL教室	6315	36名（PC42台）	VP/パソコン（持込可）/教材提示卓 PC@LL授業支援（Ver.8.0） OS：Windows7とLinuxのデュアルブート
		視聴覚教室	6320	175名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓

総合情報センターが管理する
学内施設・設備一覧

棟	階	施設仕様	教室	収容数	特記事項
人間関係学部棟	1F	視聴覚教室	7114	151名	VP（2台）/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓 千代田校（155教室）と遠隔授業システム
			7127	300名	VP（2台）/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓 7114教室と連携授業システム（千代田校と連携可）
	2F	視聴覚教室	7214	151名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓
		情報処理・LL教室	7217	67名 （PC67台）	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓 CaLaboEX（Ver.6.0） OS：Windows7
			7237	69名 （PC69台）	
		視聴覚教室	7247	110名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓
		モニターTV教室	7260	33名	ディスプレイ（29inch）
		視聴覚教室	7262	52名	VP/パソコン（持込可）/教材提示卓
		モニターTV教室	7282	33名	ディスプレイ（29inch）
			7283	33名	パソコン（持込可）/教材提示卓/ディスプレイ（42inch）
		視聴覚教室	7284	52名	VP/パソコン（持込可）/教材提示卓
			7286	52名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓
	3F	視聴覚教室	7313	52名	VP/パソコン（常設・持込可）/教材提示卓
			7315	52名	
			7318	110名	
			7338	110名	
			7348	110名	
		モニターTV教室	7362	36名	ディスプレイ（29inch）
			7368	36名	
			7381	36名	
			7382	36名	
			7383	36名	
			7384	36名	パソコン（持込可）/ディスプレイ（43inch）
			7385	36名	
			7386	36名	パソコン（持込可）/教材提示卓/ディスプレイ（42inch）
			7387	36名	ディスプレイ（29inch）
			7388	36名	

【図書館】

棟	階	施設仕様	座席数	施設タイプ／特記事項
図書館棟	3F	閲覧席	114席	
		メディアルーム	30席	PC12台／プリンター2台／ビデオ／DVD／CD
		事務室/メインカウンター/新着雑誌/新聞/閉架書庫/検索・コピー各コーナー/他		
	4F	閲覧席	148席	
		学習室	54席	
		キャレル	6席	
		開架書架/大型本/参考図書/検索コーナー/閉架書庫/他		

大妻女子大学　総合情報センター年報
第５号（2012 年度）

2013 年 7 月 30 日発行

編集・発行　大妻女子大学 総合情報センター

〒 102-8357　東京都千代田区三番町 12 番地
TEL 03-5275-6013（図書館）
TEL 03-5275-6085（メディア教育開発センター）